

令和6年度「助産師の立場での性教育とプレコンセプションケア」研修会 アンケート結果

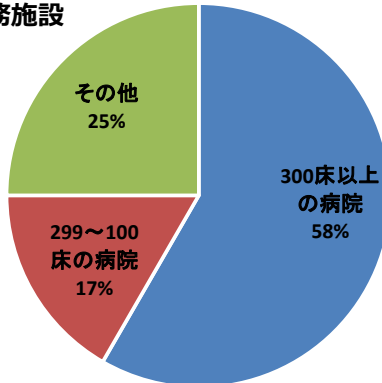
開催日時：令和6年6月15日（土） 13:00～16:00

講師：国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 母性内科診療部長 荒田 尚子（オンライン）

参加者計：27名

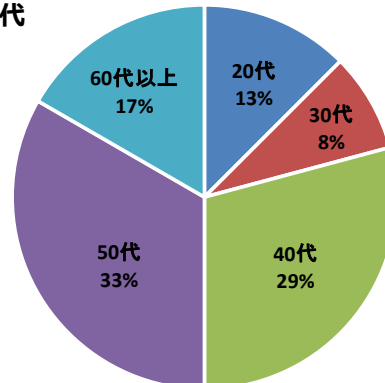
アンケート回収：24件 回収率：89%

1 勤務施設

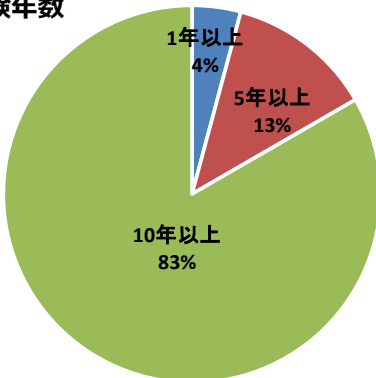


その他・・・保健指導型助産院、自治体・行政

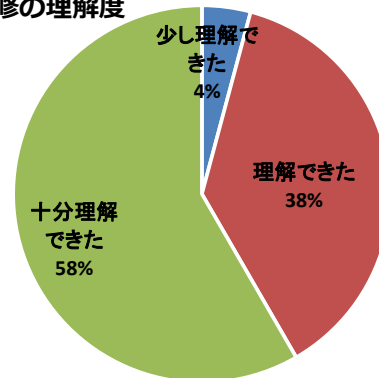
2 年代



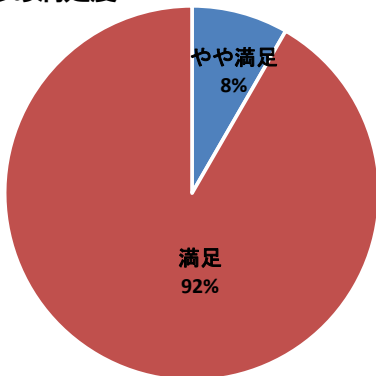
3 経験年数



4 研修の理解度



5 研修の満足度



6 研修に対する意見、助産師活用事業で実施してほしい事など

- ・ わかりやすい講義でとても勉強になりました。
- ・ プレコンセプションケアという言葉自体はじめて耳にし受講しました。興味深く学ぶことができました。
- ・ プレコンセプションケアについて学ぶ機会がほとんどなかったためとても良かったです。混合病棟なのでユニットマネジメントの研修はぜひ続けてほしいです。
- ・ 日々の業務で、健康管理ができない母親や子供のワクチンに消極的な母親がいると感じており、プレコンセプションの必要性を改めて感じました。訪問や健診などを通して必要性等を説明していきたいと思います。
- ・ 前田さんがおっしゃたとおりで、看護職全体に聞いてほしい内容でした。ヘルスリテラシーを高めるためにも若者からの支援ですね。性教育は生活習慣対策・健康づくり等包括的に対応することを再認識しました。時代の流れを感じます。
- ・ 改めてプレコンセプションケアの大切さが分かりました。少子化対策の子どもを産みなさいだけに進まないよう、リプロダクティブヘルス/ライツを守りながら人々の健康と幸福のために将来、次世代を含めた包括的な性と性教育を考えていきたいと思いました。一人一人の人権や質を大切にしていけるよう助産師として伝えていきたいと思っています。素晴らしい講演を拝聴して大変勉強になりました。ありがとうございました。